

2020年5月8日

各位

株式会社山形銀行
株式会社 日本政策金融公庫 山形支店**株式会社ベルウッドヴィンヤードへのワイナリー設立支援について**

株式会社山形銀行（頭取 長谷川吉茂）と株式会社日本政策金融公庫山形支店農林水産事業は、県内で初めてとなる新規就農者に対する事業性評価融資を行い、上山市で3件目となるワイナリー【株式会社ベルウッドヴィンヤード（社長 鈴木智晃）】が誕生しましたのでお知らせします。

1. かみのやまワインの郷プロジェクト第1号のワイナリー設立

当行では上山市における山形成長戦略プロジェクトの一つとしてワインを軸に地域経済活性化を図るため、「かみのやまワインの郷プロジェクト協議会※」の設立や運営支援を通じて、移住を含めたワイナリー参入希望者の発掘や創業支援およびワインバル、ワインツーリズムによるワイン魅力発信や交流人口の拡大などを行っております。

※ 「かみのやまワインの郷プロジェクト協議会」とは、地域資源であるワインを切り口に地域経済活性化を目指すプラットフォームとして、上山市が2015年12月設立。ワイン用ぶどうの生産振興、ワインの醸造・消費拡大を目的に上山市、ワイナリー、生産者団体等に加え、当行も行政以外で唯一事務局として参画。

鈴木氏のワイナリー設立にあたり、「かみのやまワインの郷プロジェクト」の第1号案件として、当行、日本政策金融公庫、上山市農林夢づくり課、山形6次産業化サポートセンター、山形県が連携し、農地の確保や事業計画の策定、山形のうまいもの創造支援事業の活用による醸造施設、設備の整備を行いました。

鈴木氏は新規就農するまでの19年間、県内のワイナリーに勤務し、醸造の責任者として数々のコンクール受賞ワインを生み出してきました。ワイン造りに携わるうちに、ぶどうの栽培からワインの醸造、販売までを自ら手掛け、自分の思い描くワインを造りたいという思いが強くなり、2017年上山市にて就農を決意しました。

鈴木氏のワイナリー設立により、上山市では有限会社タケダワイナリー、有限会社蔵王ウッディファームに次いで3件目のワイナリーになります。

なお、6月に酒類製造免許を取得予定であり、営業開始は6月以降になります。

2. 県内初、新規就農者に対し事業性評価融資のスキームを活用

当行と日本政策金融公庫は、今回の投資について計画段階から情報を共有し、鈴木氏のこれまでの経験や事業意欲、事業の実現可能性等を事業性評価融資のスキームを活用して評価しました。ワイン醸造施設建設資金として、当行を窓口で青年等就農資金を融資しております。なお、事業性評価融資のスキームを活用した新規就農者への融資は県内初となります。

当行は今後も地域のお客様のニーズ・課題に対応するとともに、地方創生と地域経済の活性化に取り組んでまいります。



【企業概要】

| | |
|-------|--|
| 企業名 | 株式会社 ベルウッドヴィンヤード |
| 代表者 | 鈴木 智晃 |
| 所在地 | 山形県山形市大字志戸田 1043 |
| 事業内容 | ワイン用ぶどう生産およびワイン醸造 |
| HP | https://bellwoodvineyard.com/ |
| 企業の特徴 | <ul style="list-style-type: none">・ 19年間勤務した県内ワイナリーを退職後、2017年4月に上山市久保手の農地62aを賃借し農業経営を開始。2019年4月に法人化。2019年までは他のワイナリーにて委託醸造を行う。・ 2020年3月に自社ワイナリー完成、2023年には22種類16,000本のワインの製造を予定している。・ 営業開始は2020年6月以降を予定している。 |

(写真) ワイナリー



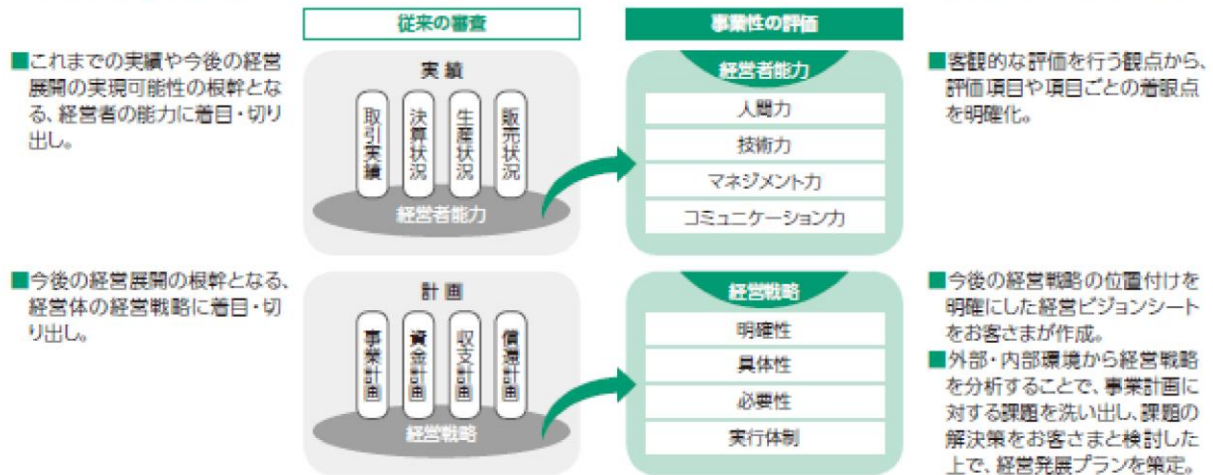
(写真) 当社ワイン



(参考) 事業性評価融資

事業性評価融資の仕組み

経営者能力(経営実績や今後の経営展開の実現可能性の根幹)と、経営戦略(今後の経営展開の根幹)を切り出して評価します。



(参考) 委託貸付

当行と日本政策金融公庫は業務委託契約を締結しており、当行を窓口日本政策金融公庫の資金制度を利用できます。

本件に関するお問い合わせ先

株式会社山形銀行 広報室 豊原 Tel 023-623-1221 (代表)

株式会社日本政策金融公庫 山形支店 農林水産事業 守屋 Tel 023-625-6135

以上